


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年 11 月 11 日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第2号	質問議員	13番	石田照子	
件名	異業種交流によるまちづくりを				
要 旨					
<p>「魅力的で住みたい」そんなまちづくりを握るカギは、いかに新しい知恵を出せるかではないでしょうか。行政だけの知恵では視野は狭くなりがちです。そこで、民間企業や学生など、普段行政とはかかわりのない様々な方とまちづくりについて議論できる場を設けることで、思いもよらぬ発見や斬新的な提案に巡りあうことができるはずです。</p> <p>また、専門的知識や、国とのパイプ役になれるような人材の登用も、町の発展には重要な位置づけとなることと思います。</p> <p>商店街の活性化、観光業の発展、人口減少対策、高齢化に伴う福祉サービスの充実など、問題は山積しています。</p> <p>問題解消の手段として、異業種の知恵と知恵を融合させることで、新しい風が吹き、発展的な化学変化が起きることを期待し以下質問します。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 町とゆかりのある自治体や団体、または個人とさらなる交流を図ったらどうか。2. 企業や学生など、異なる分野の英知を集め、住んでいてよかったと思えるようなまちづくりに活かしたらどうか。3. 国とのパイプ役となれる人材を登用したらどうか。					